

# 「ガールスカウト・丸和早生樹の森」植樹祭

## ～国民参加の早生樹の森林づくり～

### 1. 早生樹の森

林木育種センターでは、林野庁関東森林管理局千葉森林管理事務所が推進している「協定締結による国民参加の森林づくり」に協力して、ガールスカウト千葉市協議会及び有限会社丸和建材社と共同で、「ガールスカウト・丸和早生樹の森」(以下、早生樹の森)を造成し、早生樹の育成試験を開始しました。試験を開始するにあたり、関係者による植樹祭を開催しました。

早生樹の森の造成地は、千葉県君津市の戸崎国有林で、周囲には他の国民参加の森林も造成されています。早生樹の森には、成長の早い樹種の中から、中国原産の針葉樹「コウヨウザン」、ケヤキの代替材として家具等にも用いられる「センダン」、北米原産で街路樹としても多く植栽される「ユリノキ」、漢方薬として古くから利用されてきた「キハダ」、中国原産で赤みを帯びた材が特徴の「チャンチン」の5樹種を植栽しました。



ガールスカウトの子供たちも頑張って植えました

### 2. 植樹祭

植樹祭は5月22日に開催しました。丸和建材社の皆さんが植栽場所に苗木を配り終えたところに、ガールスカウトの子供たちも合流しました。最初に林木育種センターから、植える樹種や植え付け方法について説明した後、実際の植栽に取り掛かりました。丸和建材社ではこれまでも多くの植樹を行ってきたというだけあって、慣れた手つきでどんどん植栽していきました。ガールスカウトの子供たちもしっかりと根付くように丁寧に植栽していました。

早生樹の森は、単なる植栽試験ではなく、森づくりの過程を通して森林とふれあい、その利用について学び考え、環境に対する理解を深める環境教育も目的としています。今後は成長調査や管理作業を行うなかで、子供たちにも早生樹を植える意義などを学んでもらいたいと考えています。

(遺伝資源部 保存評価課 磯田 圭哉)



丸和建材社の屈強な男性陣による植栽



早生樹の森の植樹祭に参加したガールスカウト千葉市協議会、有限会社丸和建材社、千葉森林管理事務所等のみなさん